

町政を問う

12月議会では5人の議員が登壇し、

町の考えをただした。

Q 次期町長選挙、再選に向けての考えは

A 引き続き、町政のかじ取り役としての重責を担わせていただきたい

飯沼 満 議員



令和8年6月には、町長の改選時期を迎える。藤井町長が町長の職に就かれて、約3年半が経過しようとしている。町政のかじ取り役として、日々真摯に取り組まれ、私はその成果を高く評価しており、さらなる活躍を期待している。

体力・気力ともに兼ね備えた、藤井町長の再選に向けての決意を伺う。

A 町長

私は、令和4年7月より、谷村町政を引き継ぎ、町政をお預かりし、それまでの職員としての42年余に及ぶ行政経験を生かし、職員と一丸となって町政発展のために全身全霊を傾け、公約に掲げた新たな施策に積極的に取り組んできました。

さらには、「住み続けたいまち ごうど」を創るため、そして、将来にわたって町民の生命と財産、生活の安全を守っていくためには、今の町が抱える様々な課題に対し、しっかりと取り組んでいかなければならない。

人口の減少対策、高齢化社会における福祉サービスの維持、老朽化していく公共施設への対応をはじめ、今後の土地利用や、防災対策、急激な物価高騰に対する生活支援など、対応していかなくてはいけない課題がある。

こうした課題に対し、さらなるサービスの向上を図り、今後も事業を進めていく責任と情熱がある。

私自身、幸いにして健康には恵まれており、体力・気力は十分である。町民の皆さまのご理解を頂戴できるのであれば、引き続き、町政のかじ取り役としての重責を担わせていただきたい。
令和7年度からスタートした「第6次総合計画」

で掲げた、まちの将来像「みんなの笑顔 未来につながる」とともに支え合うまち「ごうど」の実現に向けて、具体的な施策を実施し、さらなる発展と、町民の幸せに貢献すべく、強い使命感をもって計画実現への道筋を立てていきたい。

これまで以上に、町民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、心に寄り添いながら、持続可能なまちづくりを進めるため、全身全霊を傾注し、町政の発展に取り組んでいく決意である。

Q

部活動の地域移行・地域展開の今後の方針は

A

指導者の確保を図り、引き続き、地域展開を進める

宮嶋健太郎 議員

全国的に教員のなり手不足が深刻化し、岐阜県でも教育環境への影響が懸念されている。教員の負担軽減と生徒

(1) 現状と今後の方針を問う。神戸中学校における

部活動の地域移行・展開の進捗と課題は。元教員や競技経験者が登録する「部活動指導者バンク」を検討している。

(2) 指導者は、ごうどスポーツクラブに指導者登録し、活動している。指導者登録が、指導者バンクの機能を担っていると考えている。

(3) 必要に応じて近隣市町と連携し、生徒たちの活動の場の確保を行っていききたい。

見通しは。未普及地域の整備方針と、下水道と浄化槽の最適な役割分担は。人口減少と更新費の増加を踏まえ、近隣自治体との施設共同化・業務連携等広域化を検討しては。

(1) 近隣町村との合同チーム編成など、広域連携は指導者・生徒確保に有効と考える。広域連携をより一層推進しては。

(2) 令和5年度から部活動の地域展開を進めており、現行13部活のうち、8部活が地域展開している。

(3) 県の広域化・共同化計画に基づき、近隣自治体と協議を行ってきた。引き続き、情報共有を図り、持続可能な汚水処理体制の構築を推進していきたい。

A 教育長

Q 下水道の持続可能性について

A 町長

指導者の確保が課題である。

全国的に下水道の老朽化・更新費用の増大、人口減少による収入減などが課題となる中、神戸町でも長期的な対応が必要であり、以下を問う。

(1) 下水道事業は供用開始から18年が経過している。浄化センターは計画的に設備更新を進め、今年度から中央監視操作装置の改築工事に着手する。

経営戦略に基づき、年度間事業費を平準化することで、収支の均

衡を図り、一般会計からの繰入金抑制に努めている。

今後も引き続き、計画的な投資と財政負担とのバランスを考慮しながら、適切な維持管理に努める。

未普及地域は残り3地区で、財政負担を考慮しながら進めていく。認可区域外は合併浄化槽補助金を交付し、対応している。

引き続き、情報共有を図り、持続可能な汚水処理体制の構築を推進していきたい。



神戸中学校の部活動 地域展開の様子



養老鉄道の無人駅に「ボランティア駅長制度」を検討しては



沿線7市町等で組織する協議会等を通して提案していきたい

小川榮一 議員



(1) 無人駅について

養老鉄道の駅は27駅あり、そのうち19駅が無人駅である。無人駅の環境・安全面などの管理をどのように考えているのか。

樽見鉄道、JR各社などが「無人駅ボランティア駅長制度」を取り入れている。駅の清掃、利用者の見守り、地域の活性化などを目的として、地域住民などがボランティアで駅長を務める制度である。

(2) 無人駅の安心・安全の確保に貢献していると思うか。この制度を養老鉄道でも検討してはどうか。

近年、養老鉄道の不祥事が相次いで報じられている。重大事故に発展すれば、人命が危険にさらされることに加え、沿線市町の養老鉄道への支援がさらに重くなる。

(1) 無人駅については、将来にわたって、養老鉄道や養老線管理機構をはじめ、沿線自治体と地域が連携して、適正に維持管理していくことが重要である。

(2) 養老鉄道における列車の無免許運転は、鉄道事業者として決してあってはならない重大な問題であり、非常に遺憾に思っている。

A 町長

沿線市町から懸念の声を上げるべきだと考えるがどうか。

「サイン協議会」がある。マイルール意識を醸成するためにも、提案していきたいと考えている。

「ボランティア駅長制度」については、地方鉄道などを中心に取り組まれている事例があり、景観の向上と駅周辺の活性化に加え、地域と鉄道の関係づくりにも、大きな成果を上げているものと承知している。

令和7年5月に運輸士がアルコール検査を受けずに運転業務を行ったことが発覚し、その際に社員への教育・指導を徹底し、信頼回復に努めると誓ったばかりである。

現在、沿線市町では養老線の利便性を高め、今後の活性化施策を協議する「養老線リ・デ

守の徹底と再発防止を図り、信頼回復に努めるよう強く求めている。

Q

農事用揚水ポンプの修繕を、町が行うことはできないか

A

管理者が行うことが原則だが、今後の研究課題とする

大場光晴 議員

現在、神戸町には揖西・揖東・南部土地改良区が存在している。

良区の農業用水の供給は悪く、西濃用水からの農業用水では不足し、多くの農事用揚水ポンプを利

用して維持している。農事用揚水ポンプは、設置からかなりの年月が経っており、老朽化が進んでいる。

A 町長

(1) 神戸町の水田は、西濃用水土地改良区連合の受益地内である。

西濃用水への賦課金は、南部土地改良区は揖西土地改良区の約2倍であり、さらに農事用揚水ポンプの修繕の負担もある。

(1) 現在町内にある水田用の農事用揚水ポンプ

は、どの土地改良区にどのくらい存在しているか。

(2) 農事用揚水ポンプの修繕が必要となったときは、受益者で構成する水利組合では対応しきれないため、町が修繕できないか。

Q 小・中学校の卒業記念品について

現在、神戸町では、小

卒業記念品は、他市町において、近年ではかなり変化してきている。デジタル化とキャッシュレス等を考慮し、地域性を活かしたり、選択制にするなど、時代やニーズに合った卒業記念品に変更していく考えはあるか。

A 教育長

卒業記念品については、毎年学校の意見を聞いた上で、児童生徒に適したものを検討している。

今後も時代やニーズを考慮しながら、卒業という節目を祝い、未来への期待やエールを伝えるものとなるよう検討する。



Q 新年度予算編成に対する基本姿勢は

A 町民の生活を守り、支える施策を着実に進めていく



予算査定の様子

鈴木愛子 議員

(1) 厳しい行財政運営の中、「民生の安定」を使命とする地方自治体として、新年度予算編成にどのような基本姿勢で臨むのか。
 (2) 財政力の強弱を示す「財政力指数」のこの5年間の推移は。

A 町長

(1) 限られた財源を緊急性や町民ニーズの高い事業へ重点的に配分することを念頭に置き、予算編成を進めている。物価高騰対策をはじめ、安心・安全の向上に重点配分するなど、町民の皆さまの生活を守り、支える施策を着実に進めていく。
 (2) 財政力指数は下記のとおりで、令和6年度の内年平均値は0.55で、神戸町は町村の中では4番目（県全体13番目）の良好な数値である。
 (3) 国の補正予算が成立したら、物価高騰に際

Q 自治組織などへの町の適切な支援の必要性について

し、住民の生活に直接する町独自の有効な支援策を実施するため、速やかに補正予算に計上していく。

各区长さんからお聞きを、現状把握に努めるとともに、適切な自治会運営ができるよう、助言するなどの相談支援を積極的に行っている。
 今後とも、自治会と町とが、より一層連携を密にし、課題解決に向けて取り進むなど、引き続き、自治会への支援を推進していきたいと考えている。

※財政力指数とは

財政の豊かさを表す指数。自治体を運営するのに必要な経費に対して、自前の収入がどれくらいあるかを示す数値。1に近いほど財政に余裕があるとされる。

令和2年度	0.71
令和3年度	0.68
令和4年度	0.66
令和5年度	0.63
令和6年度	0.63

A 町長

町としては、各自治会が抱える課題について、

議会の動き (11月～1月)

11月

- 17日(月) 議会運営委員会
- 21日(金) 全員協議会

12月

- 1日(月) 第8回定例会(初日)
- 3日(水) 民生文教常任委員会
- 4日(木) 総務建設常任委員会
- 10日(水) 第8回定例会(一般質問)
- 11日(木) 第8回定例会(議案審議)
- 19日(金) 全員協議会
議会運営委員会
- 24日(水) 全員協議会、第9回臨時会

1月

- 13日(火) 広報編集特別委員会
- 15日(木) 広報編集特別委員会
- 19日(月) 市町村長等・議会議員
特別セミナー
- 20日(火)
- 22日(木) 全員協議会



3月定例会 のお知らせ

☆会期の日程

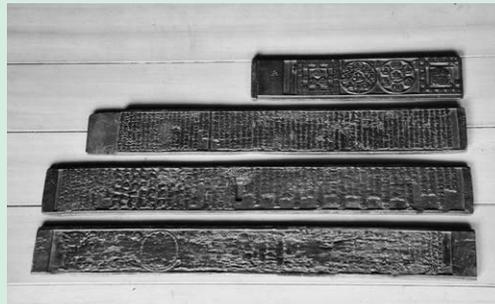
- 3月2日(月) 開会、議案の説明
- 3月11日(水) 一般質問
- 3月12日(木) 議案の審議

☆場所

役場3階 議場

☆時間

午前9時30分から



勸学院の九重版木(町重要文化財)

ふるさと再発見

表紙の写真は、神戸町下宮の勸学院の「御籤版木」です。昭和45年12月21日に町重要文化財に指定されています。

表裏共密教の経文等を彫刻し、これを手刷りして継ぎ合わせ、おみくじとして、一般に頒布しました。

「九重版木」も密教の経文等を彫刻したものであり、手刷りして密封し、肌に着けて厄難除けとしたといわれています。

関ヶ原の戦いの時には、東軍の将兵が神戸へ来た時に、当院でこのお守りを頒布したので、このお守りを頂いた人たちは無事であり、戦いに大勝したそうです。